

第 20 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム企画書

男女間の積極的格差改善措置（女性限定公募・クォータ制など）について考える
～より公平な社会の実現を目指して～

【日時】 2022 年 10 月 8 日（土） 10:00～17:00

【形式】 東京大学浅野キャンパス武田先端知ビル武田ホール&オンライン開催

【主催】 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会（幹事学会：一般社団法人日本生物物理学会

【後援（申請予定）】

内閣府男女共同参画局、文部科学省、厚生労働省、経済産業省

国立研究開発法人科学技術振興機構

独立行政法人国立女性教育会館

一般社団法人国立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟

【目的】

男女共同参画学協会連絡会が設立されて本年で 20 年の節目となりました。本連絡会の加盟学協会は設立当初の 12 から現在では 110 を越え、昨年度からは一般社団法人に移行いたしました。これまでに本連絡会では、科学技術分野における女性研究者活躍にむけて、およそ 5 年ごとに実施している科学技術系専門職の男女共同参画実態調査をもとに関係省庁に現状や課題の説明と課題解決のための提言や要望を行なってきました。しかし、2021 年における女性研究者割合は 17.5%と OECD 各国の中で最下位であり、未だ世界との差は広いまです。また、政治分野における国会議員や大臣の女性割合や経済分野における女性管理職割合の低さも際立っており、世界経済フォーラム発表したジェンダーギャップ指数（2022 年）では 146 か国中 116 位と先進国において最下位となっています。世界の多くの国では、政治や経済分野において男女間格差を積極的に改善することを目的としてクォータ制が導入されてきましたが、日本においても女性版骨太の方針 2021 に「男女共同参画社会基本法に基づく積極的改善措置の在り方に関し、幅広い分野におけるクォータ制の適用も検討する」と明記され、ようやく検討が始まりました。そこで、本シンポジウムでは、クォータ制の導入、女性の積極的な登用、男女間格差改善のための活動に関わっている幅広い分野の方々からお話を伺い、より公平な社会の実現について共に考える機会にしたいと思います。

■プログラム

【午前の部（10:00～11:30）】

開会挨拶 原田慶恵（男女共同参画学協会連絡会第20期運営委員長）

「第5回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査報告」

講演1 第5回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査結果の概要報告

須藤雄気（日本生物物理学会 岡山大学 教授）

講演2 第5回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査における自由記述回答の紹介

岡田往子（日本原子力学会 東京都市大学 客員准教授）

講演3 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査に基づく提言・要望

志牟田美佐（日本生理学会 東京慈恵会医科大学 講師）

【昼の部（11:30～13:00）】

ポスターセッション（昼食）

【午後の部（13:00～17:45）】

幹事学会挨拶 野地博行（日本生物物理学会 会長） 13:00～13:05

ご来賓挨拶 13:05～13:30

基調講演1 山田秀雄（山田・尾崎法律事務所代表 弁護士）

「弁護士会における男女共同参画推進特別措置（女性副会長クォータ制等）
の導入について」

基調講演2 三浦まり（上智大学 教授）

「候補者均等法の可能性：数値目標の効果と課題」

基調講演3 湯上浩雄（東北大学大学院工学研究科長 教授）

「東北大学工学研究科のDEI推進プロジェクト」

基調講演4 田中沙弥香（一般社団法人 Waffle 理事長）

「Waffleの活動と格差是正のためにすべきこと」

休憩 15:10～15:20

パネル討論 15:20～16:30

パネリスト山田秀雄、三浦まり、湯上浩雄、田中沙弥香

ファシリテーター：佐々木成江（お茶の水女子大学 教授）

休憩 16:30～16:40

各種報告、他 16:40～17:00

－第20期活動報告 原田慶恵

－第21期幹事団体挨拶

（お名前は敬称を略させていただきました。）

以上

講演者は男性3名、女性4名（挨拶、司会者等を除く）